

新

風になりたい

NO.64(通巻 NO.86)

【発行】2023年1月27日

【発行元】わかば第2作業所

【発行責任者】三上祥恵

〒792-0856

新居浜市船木甲 2114

TEL 0897-43-9531

FAX 0897-47-3911

新春の雑感

タレントのタモリさんが昨年暮れ「徹子の部屋」で、来年はどんな年になりますかねと問われ「来年は新しい戦前になるんじゃないでしょうか」と答え、インターネットで話題になったと新聞のコラム欄で知った。敵基地攻撃能力の保有、防衛費増額等アツと驚く間もなく閣議決定されてしまった。私のような能天気な者まで不安と恐怖におとしめる信じられない事です。タモリさんが言うように新しい戦前が来るのでしょうか。

この何年間、何所を観ても、何を視てもコロナ、コロナでもうウンザリ、我慢もう限界。細胞すら持たない生物とも言えないような極々小さなウイルスに、生き物の頂点に立つと自惚れている人間がこれほど振り回されている状況をどう考えるのだろうか。ウクライナはネオナチだから我々が肅清しなければと侵略を続けるロシアのプーチンさん、台湾は我々の領地だと軍事進攻を考えている習近平さん、我が国を守るにはやられる前に敵の拠点を攻撃しなければと考える岸田さん、世界平和に責任を負うべき指導者達も細胞を持たないような微細なウイルスに弄ばれている存在なのだ。思い上がりもいり加減にしろと叫びたい。

昨年末、自動車学校で高齢者運転免許更新講習を受講した。いつの間にか後期高齢者の仲間入りである。足腰の老化と記憶力の低下が著しい昨今ではある。講習にある認知症検査で見事に実証された。わかば共同作業所を立ち上げる時一緒に活躍してきたお母さんたちもみんな後期高齢者である。当時、わが子が養護学校卒業した後行先を何とかしたい思いでそれぞれ身の丈にあった活動を懸命に頑張ってきた。その結果として今の「わかば会」が在る。でも、親たちの高齢に伴い様々な要因で家庭生活に支障が生じてきた。そのためグループホームの存在感が日々増している。通所施設に仲間たちの家庭生活をバックアップする力が在るのかいささか不安である。しかし、現実に即した支援体制が必要なのは判りきっている。法人として、お母さんたちとみんなで話し合わなければと思う今日この頃である。

社会福祉法人わかば会
理事長 山口信二

～さをり展～

10月28日から31日までの4日間、イオンモール新居浜にて『第13回あいあい工房とわかば共同・第2作業所さをり展』が開催されました。利用者さんはあいあい工房の先生方にご協力いただき、月に1回さをり織りを行っています。

10月29日の土曜日開所では、会場を見学に行きました。さをり織りや保護者の方々の手作りの小物など、色とりどりの作品がたくさん並んだ会場に入ると、皆わくわくした様子で



思い思いに歩き、作品を眺めていました。

翌日はあいあい工房の先生方と一緒に店番をさせていただきました。たくさんの方が作業所の作品を見て下さり、とても幸せな気持ちになりました。利用者さんが来てくれたことも、嬉しい出来事でした。



😊 また会場でスイーツ工房来夢のクッキーを販売していましたが好評で完売でした。

次回のさをり展に向けて、これからも利用者さんは作品作りに取り組みます。さをり展にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。(藤本)



～よいよ HAPPY な作品展～

昨年の11月5日イオンで開催されていた“よいよ HAPPY な作品展”にシーツ班の皆で見に行きました。

会場に入るといろいろな施設や事業所から出品されている作品がたくさん展示されていました。1つひとつじっくりと見て回りながら、自分の気になる作品に足を止めたり、興味深く見ていたりする方もいました。

第2作業所から出品した太鼓台は、たくさんの色を使い、新居浜太鼓ならではの迫力が伝わり、とても素晴らしかったです。皆が一生懸命作った心のこもった作品を見させて頂き、とても温かい気持ちになりました。(加藤)



～カレンダー販売お礼～

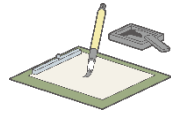
今年度も沢山の皆様に、きょうされんカレンダー販売にご協力いただきましてありがとうございました。お蔭様でわかば第2作業所では、壁掛け179、卓上129をご購入していただきました。

心より感謝いたします。



～土曜日開所～

1月7日、今年初めての土曜開所にて毎年恒例の書き初めを行いました。



今年も流行語に選ばれそうな個性的な作品がたくさん出来上がり、わかば第2作業所の壁面を明るくしてくれています。

書き初めの意味や由来を調べると「1年の抱負や計画、おめでたい言葉を認め、目標成就や新年をお祝いする意味が込められている」と記されていました。本来は15日前後の小正月まで飾っておき、その後「とんど」と言われている火祭りで、ほかのお正月飾りとともに炊き上げ炎や燃えカスが高く舞い上がると、字が上達すると言われているそうです。意味や由来を知るとまた違う楽しみ方や取り組む気持ちが変わると思います。

まだまだ、感染症が終息する気配はありませんが、少しずつ活動の幅や生活の制限も緩和されていて共存する世の中に変わりつつあるのかなと感じています。少し元気がなくなったり、疲れた方がいたら是非、わかば第2作業所の壁面をのぞきにきて元気になってもらえたら嬉しいです。(仙波)



スイーツ工房来夢より



12月には、☆クリスマス限定☆『オリジナルクッキー缶』、たくさんご注文ありがとうございました。「毎年楽しみに



しています(*▽*)、「かわいくて食べるのがもったいない。」との声をいただき、利用者の方の励みになっています。わかば第2の皆で協力しながら、クッキーの製造、ラッピングを完成させることができました。(古河)



😊新商品のご案内😊

パウンドケーキに新しくチョコマーブルが仲間入りしました。ビターなココア生地にチョコレートを混ぜ込んだ、ちょっぴりリッチな味わいです。

寒いこの時期に、温かい飲み物と一緒にいかがでしょうか？



～法人創立記念日～

去る2022.11.4、くすのき園にて法人創立記念日が執り行われました。

この日、社会福祉法人わかば会は、1997年に法人認可され25年を迎えることができました。式典では、山口理事長より創立当時のエピソードや障害福祉における理念や精神が語られ、また、当時の親の思いの詰まった文章の朗読が行われ、当時の色々な思いそして色々な苦労を経て現在のわかば会が存在していることを重くそして強く受け止めることが出来ました。また、法人内の利用者・職員への表彰があり、いつもより少しおしゃれをした利用者の方の姿や笑顔はとでも新鮮で素敵でした。

表彰式では、くすのき園内でのコロナ罹患時にご尽力頂いた林外科クリニック院長、林先生へ感謝をお伝えする表彰もありました。

法人全体では美味しい食事を皆でお腹いっぱい食べ、創立記念日をお祝いする事が出来ました。

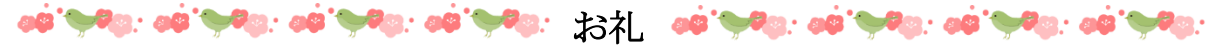
いろいろと変わっていく世の中...、理念と謙虚さそして思いやりの心をずっと持ち続けていたいと思いました。(三上)



～職員紹介～

昨年の11月1日付にて、くすのき園からわかば第2作業所へ異動になりました加藤佳江と申します。音楽が大好きで、くすのき園では利用者さん達と音楽を通して歌を歌ったり、楽器を演奏したりするなどして触れ合っていました。

こちらで働かせて頂くようになり、早2ヶ月余りが経ちましたが、皆さんと日々楽しく過ごせてもらっております。自分にできることを一生懸命、頑張りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



お礼

いつもご支援・ご協力頂きありがとうございます。

◎ご寄付、物品提供ありがとうございました (2022年10月28日～2023年1月26日)

・新居浜市社会福祉協議会船木支部様 ・株式会社ハタダ様

◎ご来所、ボランティアありがとうございました (2022年10月28日～2023年1月26日)

・菅 敏子 様(さをり織りボランティア) ・近藤 玉美様(さをり織りボランティア)

◎お菓子の販売にご協力頂きありがとうございます。【敬称略】

・チェリー薬局・な～や・ひまわり薬局・リトルフラワー

★これからもおいしいお菓子をお届けできるよう頑張ります

